



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

東

上場会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ 上場取引所
コード番号 7327 URL <https://www.dhfg.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 殖栗 道郎
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 三島 康人 TEL 025-224-7111
特定取引勘定設置の有無 無
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円、小数点第1位未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	69,662	20.6	25,237	44.1	17,685	38.3
2026年3月期第1四半期	57,738	10.8	17,506	18.4	12,786	18.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 38,208百万円(97.6%) 2026年3月期第1四半期 19,333百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	67.37	—
2026年3月期第1四半期	48.83	—

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	10,657,274	598,380	5.6
2026年3月期	10,840,284	569,451	5.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 598,371百万円 2026年3月期 569,441百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期 (分割後換算)	—	81.00 (27.00)	—	36.00	— (63.00)
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

2026年3月期の第2四半期末の配当金については当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。2026年3月期の期末配当金については当該株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計は株式分割の実施により単純合算できないため「—」として記載しております。

なお、株式分割を考慮した場合の2026年3月期の年間配当金合計は63円00銭となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,800	21.1	26,400	15.7	100.34
通期	78,000	27.6	53,000	25.8	201.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) 株式会社 REGIONAL SHIFT

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	275,657,868株	2026年3月期	275,657,868株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	12,555,376株	2026年3月期	13,212,068株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	262,516,111株	2026年3月期1Q	261,842,418株

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数（四半期累計）については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 配当予想及び業績予想の修正の詳細につきましては、本日開示しております『「2027年3月期第2四半期（累計）及び通期業績予想の上方修正」並びに「2027年3月期 配当予想の修正（増配）」に関するお知らせ』をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	P. 7
(セグメント情報等の注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8

※2027年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、中東情勢や物価上昇の影響が残るものの、企業収益には改善の動きがみられ、個人消費も雇用・所得環境の改善などを背景に持ち直しの動きとなるなど、全体として緩やかな回復となりました。

当社グループの主要な営業基盤である新潟県内の経済につきましては、原材料高の影響などを受けつつも、企業収益および雇用・所得環境に改善の動きがみられるなど、全体として持ち直しの動きとなりました。

このような金融経済環境のもと、当第1四半期連結累計期間の損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息の増加等により、前年同期比119億23百万円増加し、696億62百万円となりました。

経常費用は、預金利息の増加等により、前年同期比41億92百万円増加し、444億24百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比77億31百万円増加し、252億37百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比48億98百万円増加し、176億85百万円となりました。

セグメントごとの損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

・銀行業

経常収益は、前年同期比112億19百万円増加し、604億68百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比67億32百万円増加し、234億60百万円となりました。

・リース業

経常収益は、前年同期比3億46百万円増加し、59億76百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比2億0百万円増加し、3億40百万円となりました。

・証券業

経常収益は、前年同期比5億81百万円増加し、18億33百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比5億4百万円増加し、8億86百万円となりました。

・その他

経常収益は、前年同期比47億82百万円増加し、143億87百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比45億7百万円増加し、116億28百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,830億円減少し、10兆6,572億円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比289億円増加し、5,983億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、以下のとおりとなりました。

預金は、前連結会計年度末比1,257億円増加し、8兆6,391億円となりました。譲渡性預金は、前連結会計年度末比549億円減少し、1,147億円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末比78億円増加し、5兆8,799億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比1,176億円減少し、2兆3,955億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期第2四半期（累計）および通期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日に公表した数値から修正しており、第2四半期（累計）の経常利益は388億円、親会社株主に帰属する中間純利益は264億円、通期の経常利益は780億円、親会社株主に帰属する当期純利益は530億円を見込んでおります。

詳細につきましては、本日開示しております『「2027年3月期第2四半期（累計）及び通期業績予想の上方修正」並びに「2027年3月期 配当予想の修正（増配）」に関するお知らせ』をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
現金預け金	2,026,292	1,963,180
買入金銭債権	14,158	12,133
商品有価証券	2,355	2,472
金銭の信託	4,943	4,943
有価証券	2,513,197	2,395,579
貸出金	5,872,093	5,879,991
外国為替	29,129	28,330
その他資産	280,274	264,830
有形固定資産	53,456	53,709
無形固定資産	5,142	5,394
退職給付に係る資産	51,784	56,065
繰延税金資産	3,024	3,013
支払承諾見返	18,479	21,933
貸倒引当金	△34,048	△34,303
資産の部合計	10,840,284	10,657,274
負債の部		
預金	8,513,335	8,639,132
譲渡性預金	169,685	114,751
売現先勘定	179,628	161,453
債券貸借取引受入担保金	355,430	153,994
借入金	784,182	690,200
外国為替	503	561
信託勘定借	24,530	25,336
その他負債	188,419	205,984
賞与引当金	2,797	189
役員賞与引当金	174	—
株式報酬引当金	1,055	1,102
退職給付に係る負債	700	695
役員退職慰労引当金	48	38
睡眠預金払戻損失引当金	630	587
偶発損失引当金	1,815	1,730
固定資産解体費用引当金	650	650
特別法上の引当金	31	31
繰延税金負債	24,196	35,983
再評価に係る繰延税金負債	4,537	4,537
支払承諾	18,479	21,933
負債の部合計	10,270,833	10,058,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	102,988	102,988
利益剰余金	356,138	364,188
自己株式	△8,271	△7,914
株主資本合計	480,854	489,261
その他有価証券評価差額金	14,946	25,953
繰延ヘッジ損益	41,496	51,738
土地再評価差額金	8,657	8,657
退職給付に係る調整累計額	23,486	22,760
その他の包括利益累計額合計	88,586	109,109
非支配株主持分	9	9
純資産の部合計	569,451	598,380
負債及び純資産の部合計	10,840,284	10,657,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
経常収益	57,738	69,662
資金運用収益	34,995	40,360
(うち貸出金利息)	16,095	20,264
(うち有価証券利息配当金)	15,425	15,722
信託報酬	26	26
役務取引等収益	8,962	10,133
その他業務収益	8,603	10,774
その他経常収益	5,151	8,368
経常費用	40,231	44,424
資金調達費用	11,165	12,503
(うち預金利息)	3,285	5,547
役務取引等費用	2,743	2,895
その他業務費用	6,706	9,879
営業経費	16,539	16,146
その他経常費用	3,077	2,999
経常利益	17,506	25,237
特別利益	238	—
固定資産処分益	101	—
固定資産解体費用引当金戻入益	136	—
特別損失	42	17
固定資産処分損	4	9
減損損失	38	7
税金等調整前四半期純利益	17,702	25,220
法人税、住民税及び事業税	4,009	5,069
法人税等調整額	906	2,465
法人税等合計	4,915	7,535
四半期純利益	12,786	17,685
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,786	17,685

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	12,786	17,685
その他の包括利益	6,547	20,523
その他有価証券評価差額金	10,483	11,007
繰延ヘッジ損益	△3,542	10,242
退職給付に係る調整額	△393	△726
四半期包括利益	19,333	38,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,334	38,208
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社 REGIONAL SHIFTを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	証券業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	49,002	5,541	1,243	55,786	2,058	57,845	△107	57,738
セグメント間の内部経常収益	246	88	8	343	7,547	7,891	△7,891	—
計	49,248	5,630	1,251	56,130	9,605	65,736	△7,998	57,738
セグメント利益	16,727	140	381	17,249	7,121	24,370	△6,863	17,506

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、クレジットカード業務等を含んでおります。
3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△107百万円には、パーチェス法に伴う経常収益調整額△23百万円等を含んでおります。
4. セグメント利益の調整額△6,863百万円は、セグメント間取引消去等であります。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	証券業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	60,128	5,880	1,821	67,830	1,963	69,794	△132	69,662
セグメント間の内部経常収益	340	95	11	447	12,424	12,871	△12,871	—
計	60,468	5,976	1,833	68,278	14,387	82,665	△13,003	69,662
セグメント利益	23,460	340	886	24,686	11,628	36,315	△11,077	25,237

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、クレジットカード業務等を含んでおります。
3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△132百万円には、パーチェス法に伴う経常収益調整額△52百万円等を含んでおります。
4. セグメント利益の調整額△11,077百万円は、セグメント間取引消去等であります。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,615百万円	932百万円